



中央区自治協議会 区ビジョンワークショップ報告

2021.11.26／新潟市民プラザ

1. 開催概要

■日時：2021年11月26日（金）10：00～12：00

■会場：新潟市民プラザ

■自治協議会委員数：38名／当日出席25名

■企画運営：NPO法人まちづくり学校

〈進行〉メインファシリテーター 山賀昌子

グループファシリテーター 大滝聡・中村美香・成田倫史・横尾文子・和田一良

■達成目標：区の目指すすがたを実現するための取り組みに対し、プラスとマイナスの評価を行

いまとめるとともに、区の将来像の方向性につながる意見を集約する。

■プログラム：次ページのとおり。

グループワークは、区ビジョン4つの「目指す区のすがた」のうち、区民の生活により密接に関わる「II. 安心してすこやかに暮らせるまち」について、全員が意見を出せるよう時間を区切ってグループメンバーを入れ替える形式とした。

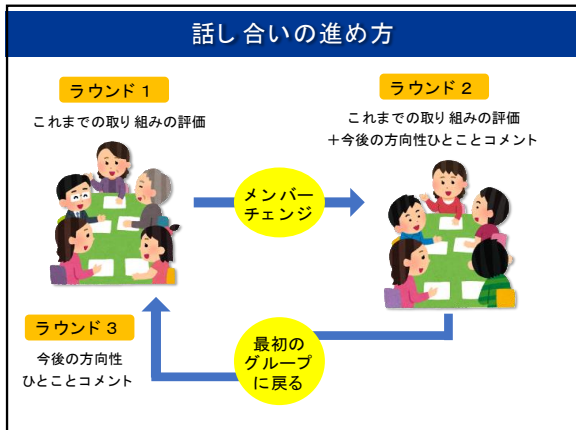
グループを以下のように設定し、出席者数の半分をA～C班に振り分け、残りは1～3班に分かれる。時間を区切ってグループをチェンジ。A～C班の委員は1～3班に移動し、1～3班の委員はA～C班に入る。（事前に地域課で委員のグループ分けを行った）

I. 魅力的で活力あふれる拠点のまち：1班

II. 安心してすこやかに暮らせるまち：A・B・C班

III. 水と緑が調和したやすらぎのあるまち：2班

IV. 未来につなぐ歴史・文化のまち：3班



意見交換の約束ごと

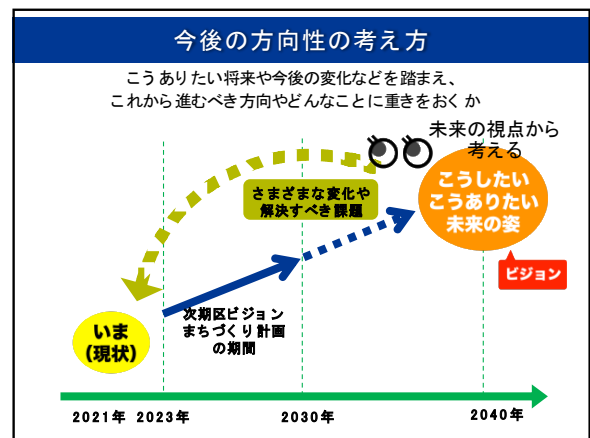
全員が発言できて、意見が多く出せるように
1人が長く話しすぎないようにしましょう。

他の人の発言には耳を傾けましょう
自分とは異なる意見は新たな気づきになるかもしれません。
否定や批判はせず、まずは受け止めましょう。

一人一人が発言するだけでなく、気になることがあったら、
どんどん話し合いましょう

グループメンバー全員で協力し合って、
良い話し合いを創り出しましょう

グループワークの進め方の説明スライド



これまでと
これからを
考える

中央区自治協議会 区ビジョンワークショップ

日時：2021年11月26日（金）10：00～12：00

会場：新潟市民プラザ

プログラム

10:00 オープニング

あいさつ・趣旨説明・スタッフ紹介・プログラムの説明

10:10 ワークショップ～中央区のこれまでとこれからを考えよう！

10：10～ これまでの取り組みに対する各自の評価意見の発表と共有

10：35 グループシャッフル

10：40～ これまでの取り組みに対する各自の評価意見の発表と共有

11：05～ これからの方向性について一人一言コメント

10：20 グループシャッフル（最初のグループに戻ります）

11：25～ これからの方向性について一人一言コメント

11:40 グループワークの結果発表

1グループ2分で意見交換の結果を発表していただきます。

11:55 クロージング

ふりかえりシートの記入・事務連絡など

12:00 終了

Mem o

■ワークショップのようす



2. グループワークのまとめ

■現在の「目指す区のすがた」に対する今後の方向性（一覧）

I. 魅力的で活力あふれる拠点のまち ～①商店街②まちなか回遊③都市機能④交流人口

- 中央区といえど古さ・歴史をもつ田舎としてそのまま残して充分だが、稼げるまちの方向性はしっかり持つ。
- 中心市街地のまちづくりに参画する人の世代交代を進め、今までの価値を言い換えるだけでなく「変化のある新しい姿」を見出す。
- 「公共交通」の面と「観光の体験としての交通（バス停の前にカフェなど）」の両面を一体的に考え、交通システムを一新する。
- コンセプト・テーマをつくり個性を際立たせ、投資を誘発させ、集中させ、継続させる。

II. 安心してすこやかに暮らせるまち ～①教育連携・社会教育②協働③健康・福祉④防災・防犯

⑤生活環境

- 各組織の機能など、今一度見直す時期ではないか。
- マイナスはプラスと表裏一体、さまざまな要素を掛け合わせてもう少しやわらかな解決を図りたい。
- 教育に数値評価はそぐわない⇒数にとられなくてもいいのではないか。
- 教育格差を解消し、子どもたちが地域に関わる機会をより充実させていく。
- GIGA 構想やコミュニティスクールを、中央区としてどう進めていくのか将来像を明確にし、地域の多様な力をつないで教育現場で発揮する。

- 1人1人のやりたいことや成長を官民連携でサポートし、若者が活躍しやすい場をつくる。
- 「赤ちゃん誕生お祝い会」は子育て世代の地域デビューのきっかけにもなり、良い取り組みなので続けていきたい。
- 車社会を徐々に解消して、さらに子育て世代にやさしいまちづくりを目指す。
- SOSを発信しやすい仕組みをつくる。
- 保健所は「もう一押し」して予防医療指導を。また、血圧など「どこでも測れる」地区にした
い。
- 市の役割を明確にしてほしい。地域でも担い手で分担して行うなど工夫を図りたい。
- 担い手育成は長期的な視点を持ち、祭りのように子どもから大人まで気持ちが1つになる取
り組みを行う。
- 高齢化や人材不足はすべてのコミュニティに関わる課題となっているので早急に対策が必要
である。
- 自主防災の役割を明確にし、マンション住民とも連携を図りながら、現実的な避難を改めて
検討する。
- ゴミの分別、交通アクセスなど、誰にとっても分かりやすい案内になっているか確認し、改
善する。

III. 水と緑が調和したやすらぎのあるまち ～①水辺②緑化

- 市民一人一人がまちの緑を維持・管理する意識を持ち、行政や事業者と協働していく。
- ミズベリング（やすらぎ堤）はとても良いので、さらに活用を進めたい。

- 水辺にはさまざまな制限があるが、考えながらもっと活用したい。
- 市民が水に親しむ場所や機会、環境づくりをもっと進めたい（鳥屋野潟はこれからの整備に合わせて）。

IV. 未来につなぐ歴史・文化のまち ～①歴史・文化②産業③まちなみ

- 市民一人一人が地域の良さを PR する意識を持つ。
- 地区内に点在している資源をつなげて大きな面としての魅力をつくっていく。
- これからの起業家を含め、若者たちが活躍できる場をつくる。

■各グループの意見と集約

I. 魅力的で活力あふれる拠点のまち【1班】

コメントの方向性のまとめ	中央区といえど古さ・歴史をもつ田舎としてそのまま残して充分だが、稼げるまちの方向性はしっかり持つ。
	中心市街地のまちづくりに参画する人の世代交代を進め、今までの価値を言い換えるだけでなく「変化のある新しい姿」を見出す。
	「公共交通」の面と「観光の体験としての交通(バス停の前にカフェなど)」の両面を一体的に考え、交通システムを一新する。
	コンセプト・テーマをつくり個性を際立たせ、投資を誘発させ、集中させ、継続させる。

これまでの取り組みの評価		評価の集約または今後の方向性	
		個別意見	まとめ
①商店街			
ブラス	賑わい支援金で、古町・本町に人が見られるようになった(特に若い家族)。 賑わい支援金で、店主たちの顔の見える関係づくりができた。 空き店舗活用支援はよかった。 集客力の向上に向けた魅力的な店舗の支援はよかった。 湊まちの食文化エリアの老舗店、新しくキレイな店舗が良い。		
マイナス	商店街の支援期を出すのはOKだが、その後のふりかえりがデータの必要。 何でも行政・他人任せから、自力で稼げる商店街へ転換しないと市民の理解は得られない。 空き店舗活用は、シャッターアートか?実店舗が入らないと意味がない。 古町1~7、8~10と分離されて各自が独自のものを行っている。 商店街の空き家活用時に、開店できるまでの時間を早めて欲しい。	・ハード整備は行政が行い、ソフトは民間主導で行う。 ・民間、行政、中間支援組織が連携し、各々の得意分野を融合し、特化した組織づくりに着手する。 ・まちで営む企業や商店(個人)がつながる地元中間支援を入れた官民連携組織づくりが必要だ。	
②まちなか回遊			
ブラス	ミズベリング事業で、民間の力が発揮され一気にオシャレ感が出てきた。 ミズベリングは、信濃川とやすらぎ堤の魅力発信という意味で良い企画だ。 ミズベリングは、市民に認知され人気スポットとなっているので続けて欲しい。 えんでは、良い取り組みになっている。 ニコニコ号の試験はよかった。	・古町は、レトロをコンセプトにまちづくりを行う。 ・コト消費を進める。	
マイナス	にいがた2kmで何を発信したいのか具体的にわからない。 萬代橋を観光地として整備していない。 水上交通の活性化が進んでいない。 郊外の大型店に勝る人の流れをつくられていない。	・多業種連携による賑わい創出が必要。 ・西堀ローサをなんとか一押し、再生させてほしい。	
③都市機能			
ブラス	都市再生緊急整備地域に指定されたことは今後、にいがた2kmを含め、新たな地域に若手を中心に行えるので、期待できる。 駐車場の整備で街が少しだけキレイに見えるようになった。 古町アーケードに駐輪スペースが増設され、集客につながっている。 鳥屋野湯周遊で、自転車走行の空間創出ができた。 健康都市を目指す取り組みは、コロナ禍でストレスが高まる中で重要であり、評価できる。	・にいがた2kmで、若者が発信できる仕組みができた。 ・にいがた2kmを最大限活用する。	自治協自体の仕組みを改善していく。(IT化や小・中・高、20代30代40代の参加を高める)
マイナス	健康プラットフォーム構築に期待しているが、「ぐるりん新潟島」の認知度は低い。 駐輪場がまだまだ不足している。 新バスシステムの市民への理解度が不足している。	・公共交通を全て一から見直して欲しい。LRTを含めた電車の復活。 ・萬代橋を人優先の考えでさらなる活用を進める。 ・法定耐用年数を過ぎた空き店舗に一年入らない場合、新たな法改正が必要である。 ・イオンモールからまちなかへ、パーク&ライドの二次交通を整備する。	
④交流人口			
ブラス	留学生の活用と交流は評価できる。 古町どんどの実施は良い。 バス運賃のシニア割りは効果があった。		国際都市ににいがたを目標とし、みなとまちににいがた食文化を売り出す。
マイナス	費用対効果が市民に見えない。(対象が見えない) 感染症対策を行った上で、宿泊を伴ったイベントを行う事で、街に活気が現れ、経済効果生まれる。	・人が動くことで活力が生まれるが、コロナで停滞したので再度課題をあぶり出す必要がある。	

II. 安心してすこやかに暮らせるまち【A班】

コメントのまとめ	GIGA構想やコミュニティスクールを、中央区としてどう進めていくのか将来像を明確にし、地域の多様な力をつないで教育現場で発揮する。
	1人1人のやりたいことや成長を官民連携でサポートし、若者が活躍しやすい場をつくる。
	担い手育成は長期的な視点を持ち、祭りのように子どもから大人まで気持ちが1つになる取り組みを行う。
	「赤ちゃん誕生お祝い会」は子育て世代の地域デビューのきっかけにもなり、良い取り組みなので続けていきたい。
	SOSを発信しやすい仕組みをつくる。
	自主防災の役割を明確にし、マンション住民とも連携を図りながら、現実的な避難を改めて検討する。
	ゴミの分別、交通アクセスなど、誰にとっても分かりやすい案内になっているか確認し、改善する。

これまでの取り組みの評価		評価の集約または今後の方向性	
		個別意見	まとめ
①教育連携・社会教育			
ブラス	C.O.によって地域と学校が結ばれた。学校が開かれた。 地域コーディネーターの制度は地域との結び付きが強くなり良いと思った。 すべての学校に地域コーディネーターを配置したこと。 教育コーディネーターは子どもを育て見守り、地域間ネットワークづくりにもなり、素晴らしい。 地域教育コーディネーターの配置が効果的。 地域教育コーディネーターの活躍に感謝する。 大きな成果を出している。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域コーディネーターの取り組みは良いので、学校行事に地域ボランティアを多く関わらせてほしい。 ・地域活動の実践者として、話を聞かせてほしいと学校から声が伝わる機会が増えた。 ・学校CO.を地域にもどす活動を推進する。 	地域教育コーディネーターの配置により、学校と地域の連携がうまくいっている。
	マイナス	令和4年度から実施するコミュニティスクール制度の具体的な取組みが見えていない。 UU、CS等、上からぶつきたシステムを運営する＝必要かどうか分からないまま。 コミュニティスクールの形式的導入(目的が不明確)。 「学校が地域コーディネーターの活動を促進する広報が効果的」 地域教育コーディネーターの仕事や環境を知っている市民がどれだけいる？(あまりいない) 「学校が地域コーディネーターの活動を促進する広報が効果的」 GIGAスクールが始まっているが思考できる様な教育をしてほしい。 ふれあいスクール事業の運営主任になり手がいない。 地域ふれあいスクールの新設が無かった。	<ul style="list-style-type: none"> 教育委員会がどのような将来の学校像を描いているのか、今一つ伝わってこない。
②協働			
ブラス	助成金をもらって活動が活発になっている。 自治会への研修会や補助。 地域コミュニティ協議会の自立を促し活動の助成をしたこと。 「しもまち地域」活性化企画効果的。	<ul style="list-style-type: none"> ・沼垂には古くからの祭りが残っている。地域の「祭り」こそ、協働の最たるもの。子どもから大人まで、気持ちを1つに取り組むことで、絆が深まる。祭りが途絶えた地区は、新たに祭りに匹敵するものを立ち上げるのもいいだろう。 ・学校の先生や行政担当は入れ替わる。町内で、多様な人が長い目で子どもや地域の担い手育成に関わることが必要だ。 	地域自治組織の立ち上げなど、地域活動を支援する各種研修会や助成金が充実し、地域活動が活発になっている。
	マイナス	男女共同参画の取組はあまり見えてこない。 コミ協に仕事を押し付け過ぎ。 町内会(自治会)の役員のなり手がいない。 担い手不足。 町内会(自治会)の役員のなり手がいない。 地域コミ協の活動拠点となる施設の確保が出来ていない地区がある。 自治会へ加入しない町内会、自治会がある。	<ul style="list-style-type: none"> 男女は違いも大事にしてほしい。なんでも同じにすればいいというものでもない。 ・1人1人のやりたいことや成長を官民連携でサポートし、実現できる場づくりをしたい。 ・市民の自主性、多様性をより尊重したい。 ・若い方々が活躍しやすいサポートを。 ・担い手不足→担い手にメリットを！ 協働に対する活動や研修会も、高齢者だけでなく小学生～40.50代が参加出来る仕組みを考えることが必要。 ・地域の高齢化に伴う担い手不足を解消するための人材育成が必要。 ・地域の担い手の育成(PTAとの連携) ・大きい声しか聞こえていないのでは？

③健康・福祉			
ブ ラ ス	地域包括ケアも進んでいる。 無料ヘモグロビンA1検査(が行われていてよい) 高齢者へのまめで細やかな事業(が行われていてよい) 各地域への「茶の間」への助成(があつてよい) 保健師による栄養指導の会、大変よい。 ヘルシーランチ提供、健康に関心を持ってもらう良いきっかけになっている。 赤ちゃん誕生お祝い会は集まりが良く、広く開催してほしい。 「赤ちゃん誕生お祝い会」は続けると良い。 赤ちゃん誕生お祝い会、新潟市の赤ちゃんの同級生となることから、保護者同士の交流が図られる。また、地域と触れ合うよい機会となっている。 まちなか中心に、医療機関が充実しているので安心。	地域包括ケアシステムや、各種健康診断などの取り組みが進み、健康な暮らしへの関心が高まってきた。 赤ちゃん誕生お祝い会が、子育て世代の地域デビューのきっかけにもなっている。 まちなかを中心に医療機関が充実しているので安心。	
マ イ ナ ス	少子化対策として抜本的な出産支援が必要。(どこに手を打つべきか曖昧) 人口減少の対策がもう少しはっきりしてほしい。(対策が曖昧) 生活困窮者世帯の支援を充実。(支援が足りない) シングルマザー等、困窮する人たちを探り出しケアしてほしい。(困っている人がどこにいるのか把握できていない) 「 マンション 」対策は必須(困っている人がどこにいるのか把握できていない) 糖尿病等をもっときちんと対処してほしい。(支援が足りない) (各種支援の取り組みなどは)計画した時期だけに限られている。継続性の仕組み作り必要。 (マンション住民の把握や見守りには)個人情報壁がある。 マンションは地域の空白になっている。	・学習機会と子ども食堂と連携するとよい。 ・高血圧やうつなど、糖尿病以外の、心配だけなかなか行動できない不調についても(気軽に相談できる場が必要) ・個人情報壁→民生委員と地域との連携(必要)。 ・マンション住民管理組合との連携が必要。 ・核家族の壁。子育てや見守りは家族が中心で行うのが良い。3世帯、2世帯同居を勧めるというのではないか。住宅建築費の補助、助成があるといい。 ・高齢者自宅訪問診療の仕組みづくりを行政と一緒に作ることが必要だ。 ・何に困っているかは人それぞれ。助けてほしいと声に出して言える環境や、仕組みづくりが大切。	少子化対策の抜本的な対策が見えないままである。 困っている人がどこにいるのか、把握できていないままであり、支援が行き届いていない。 糖尿病など特定の病気のケアに偏りがち。
④防災・防犯			
ブ ラ ス	コミ協に防災防災グッズが整備出来た事 ハザードマップにより意識が高くなっている。 地域版自主避難マップを使った防災訓練で事前確認は安心できた。 地域版自主避難マップの作成。 地域(コミ協)を核とした防災・防犯活動。 地域のみまもり活動はどことも活発で評価できる 防犯カメラ整備・費用の助成 地域のみまもり活動はどことも活発で評価できる 防犯カメラはこれからも必要に応じて増設してほしい。	中央区版の自主避難マップが大変よく、備の意識が高まっている。 防犯カメラ設置費用の助成はよい。地域の見守りも活発である。	
マ イ ナ ス	マンション住民管理組合とのかかわりの弱さ(防災) 万代5丁目にマンション出来た事。(避難)誘導・利用出来るのか。(情報不足) 自主防災、災害時、この組織がどう行動し、どういう役割を果たすのか明確でない。 要支援者名簿の作成と共有(要支援者が把握できていない)。だれが作成し、だれが管理するのか(も課題である)。	自主防災に関する研修やワークショップを開催し、役割をみんなで考える場を持つとよい。 マンションも自主防災組織を作る必要がある。 中学校区全域の防災訓練(地域と共に) 町内の居住平均年齢が70代となるエリアを(見える化する)。(誰も)取り残さない仕組みづくり(が必要)。 防犯カメラはこれからも必要に応じて増設してほしい。	自主防災組織の役割が明確でない。 要支援者など、手助けが必要な人が把握できておらず、現実的な避難の仕方が確認できていない。 中央区はマンションが多いが、マンション住民とのつながりが希薄で、災害時に連携が取れるのか分からない。
⑤生活環境			
ブ ラ ス	ゴミ分別の啓蒙も進んでいる。 サイチョプレス、とてもわかりやすく効果的。 ピア万代が出来た事。観光バスも来ている。	市民や事業者全体でゴミ拾いや草とりをする社会をつくる。	ゴミの分別啓蒙活動が進んでいる。 ピア万代が中央区の名所として活気付いている。
マ イ ナ ス	分別ゴミ箱の効果的設置が不足。 特設ゴミの出し方の説明(不足)。 特設ゴミの出し方の説明(不足)。 ピア万代から朱鷺メッセへのアクセスが悪い。 老人等の人に、交通ルールの説明をどのようにしてよいかわからない。 観光案内のアイコン、アクセスが見にくい。	たばこの吸い殻、ごみ、空き缶が公園に多いので、徹底した整備が必要だ。 観光案内のアイコン→単明瞭に出来ないでしょうか。	分別ゴミや、特殊ゴミの出し方の説明が不足している。 一方通行などが多く、交通アクセスが不便なところもある。 観光案内表示が分かりにくい。

II. 安心してすやかに暮らせるまち【B班】

コメントの方向性のまとめ	教育に数値評価はそぐわない⇒数にとらわれなくてもいいのではないか。
	各組織の機能など、今一度見直す時期ではないか。
	市の役割を明確にしてほしい。地域でも担い手で分担して行うなど工夫を図りたい。
	マイナスはプラスと表裏一体、さまざまな要素を掛け合わせてもう少しやわらかな解決を図りたい。
	保健所は「もう一押し」して予防医療指導を。また血圧など「どこでも測れる」な地区にしたい。

これまでの取り組みの評価		評価の集約または今後の方向性	
		個別意見	まとめ
①教育連携・社会教育			
プラス	図書館ホームページ機能が充実している	図書館のホームページで図書の検索や貸し出し予約・貸出延長が簡単にできるのが良い。	事業評価は数値化してほしい。教育の評価はセンシティブだ。(我々には判断しづらいが、教育がうまくいっているという印象ではない。)
	地域コーディネーターが良く活動している。	地域コーディネーターがとても熱心に行っている。	
	市民大学は高齢者にとっては良い学びの場となっている。	市民大学は高齢者がイキイキして良い。	
	地域と学校・子どもとの関係が良好である。	地域と学校、地域と子どもとの関わりが地域に伝わっている。	
	コミュニティスクールの準備が始まっている。	学校ではコミュニティスクールの準備が始まっている。	
マイナス	地域コーディネーターの活動に区内でも格差が生じている。	地域コーディネーターの役割や活動が周知されていない。 地域コーディネーターの交代があまりされていないために地域コーディネーターの熱量が落ちているところもある。	
	コミュニティスクールについて周知徹底が図られていない。	コミュニティスクールについての周知と住民協力体制が必要なのでできていない。学校運営協議会から内容を丁寧に説明し、地域住民の協力体制を作りたい。	
	家庭に小中学校に通う子どもがいないと学校に関わるのが困難な人がいる	子どもがいないと学校と関われない。	
	学校の先生が地域との関わりが希薄である。	学校の先生と地域との関わりが薄い。	
	地域の人が学校や子どもたちと関わりにくい面がある。	放課後に地域の方に勉強を見てもらえないようにという話などがあり、地域の人の中でも学校や子どもたちと関わりにくい面がある。	
	若い世代が地域活動に参加できていない。	大学の受講生や若い人が地域活動に参加できていない。	
	小学校の統合などもあるが、児童数は適正なのだろうか。	学校の児童数は適正なのか疑問だ。進捗率を出してほしい。	
	学校教育全体についてきちんと説明を求めたい。	学校教育についてきちんと説明してほしい。	
	私立小学校があればいい。	子どもの能力や特徴を生かした教育を行う私立小学校があればいい。	
	新潟小学校は越境者が多く保護者の通勤の途中で児童を学校前で降ろしているようだが、防犯などの面からも不安がある。	新潟小学校の門がなかなか開かない…子供は楽しそう…先生は早く出てくるのが難しいが防犯などからも好ましくないのではないかと。	
②協働			
プラス	行政からの助成金で自治会やコミ協の運営や活動がうまく行っているところがある。	行政からの自治会、コミ協への助成金が多く助かっている。	自治協議会やコミ協、自治会など市民組織が育ってきたエリアとそうではないエリアが混在し、格差が拡がり混乱している状況が窺える。さらに住民たちの地域活動に対する理解にも格差が生じている。 コロナ禍も含め時代背景も変化していることから地域活動を見直す時期が来ている。
	助成金が多いので活動を活発に行う意欲がわく。	(助成金が多く)計画しようという気になる。	
	中学生がまちづくりに関わり始めているところがある。	中学生が松を植えるなど少しずつまちと関わっている。	
	自治協議会やコミ協、自治会など市民組織が育ってきたため、議員さんの役割が良く分からない。	議員さん、もっとしっかりしてください。	
	自治会などの地域活動の在り方そのものを見直す時期に来ている。	自治会そのものの在り方を見直す時期だ。	
市民が育つような説明会が必要だ。	説明を聞くよりも(数値化できるような)勉強会をしてほしい。		
マイナス	幅広い世代の参加につながる活動が少ない。	幅広い世代の参加につながる活動が少ない。	自治会は認証機関化しており、こちらの民意が伝わらないこともある。トップダウンはOKだがボトムアップになっていないため、協働になっていない面も多い。
	地域活動に若い世代が参加しやすい企画があるかが分からない。	幅広い世代の参加につながる活動はあるのかも分からない。	
	助成金の情報が周知されていない。他の地域でどうやって得ているのかも分からない。	助成金の情報が周知されていない。	
	助成金情報を得ながら活動を活性化させたい。	助成金情報などはやる気のあるところでないかと情報を生かさない。 (情報を生かせるには)自治会活動を活発にやるかどうかだ。 (助成金情報は)町内会費にもかかわる。	
	男女共同参画推進員の役割が分からない。	男女共同参画推進員の役割が分からない。	
	今一度、自治協議会、コミュニティ協議会、自治会などの説明や役割分担などについて説明を聞く場を作ってほしい。	町内の様々な機能について明確に説明し、理解してほしい。 行政からの自治協等への仕事が多い。 コミ協への反発があるのでさらに周知が必要。	
	地域活動への担い手がない。	地域活動への担い手がない。	

③健康・福祉			
ブラス	地域のお茶の間がある。	地域のお茶の間には良い面がある。 お茶の間で行われる講習会や、みんなで昼食を一緒に取ることで地域住民が顔見知りになり、気軽に声掛けができるようになった。	地域のお茶の間があることは良い。
マイナス	<p>地域のお茶の間の補助金について見直ししても良い部分がある。</p> <p>多世代が自然と交流できる場が欲しい。</p> <p>育児中の人の居場所がない。あっても情報がなく分からない。</p> <p>母子の状況が変化し孤立化している可能性がある。</p> <p>妊娠時から子育て期まで相談先が分からず困っている状況がある。</p> <p>糖尿病を含む生活習慣病全般の予防医療に対する教育が必要だ。</p> <p>健康都市(区)への取り組みも必要だ。</p>	<p>月1回の事業については雑費・食糧費が対象であるが、毎週行っている事業は食糧費が対象になっていない。</p> <p>地域のお茶の間の実態が分からない。</p> <p>子育て世代が入りにくい。</p> <p>子育ては多世代でやろう。</p> <p>育児中の子育ての人の居場所がない。</p> <p>コロナ禍で母子の状況が変化し孤立化することが予想される。</p> <p>子育て講座の参加者は相談先を知れるが、相談先がわからないまま、いざという時に困っていることが考えられる。</p> <p>あらゆる年代、状況で相談先があることが大切でまずは、相談先の確保が必要。</p> <p>妊娠～子育て～学生がいる家庭で相談先があることが地域全体として当たり前の社会づくりが必要。</p> <p>支援者のスキルのための研修も必要。</p> <p>相談を受けた側の横のつながり、住民支援意識や体制づくりが重要。</p> <p>「赤ちゃんお祝い誕生会」は新しくママになる人や、子育て相談する機会として良い事だと思うので参加者を増やす工夫が必要だ。</p> <p>糖尿病予防に対して建設的にアピールしよう。</p> <p>なぜ糖尿病対策をすることになったのか、糖尿病対策を啓発した理由・背景、結果、成果、金額などを教えてほしい。</p> <p>薬を服用するにも薬についての説明が必要だ。こうしたことを指導する保健師との距離を縮めていただき理解して予防をしていきたい。</p> <p>検診結果で保健師との相談を不要にした人にこそ相談が必要なので、もう一歩踏み込んで話を聞く機会をつくる方が望ましい。</p> <p>市内で血糖値を測れる場所をもっと増やして欲しい。</p> <p>糖質からカロリーへと判断するものが変わってきた。糖尿病を含む生活習慣病についてきちんと教育してほしい。</p> <p>糖尿病知識普及の際に健康都市への取り組みもつなげてほしい。</p>	<p>地域のお茶の間が定着しているところもあるが、子育て世代が入りにくいなどもあるため、多世代交流の場・居場所づくりも必要だ。それがあれば、少しは子育て世代の人が孤立せず安心して相談できる地域の場となる可能性がある。</p> <p>また、糖尿病をはじめとする生活習慣病などに関する予防医学教室を開設し、新潟市のリーディングモデルの区となる可能性がある。</p>
④防災・防犯 ⑤生活環境			
ブラス	<p>自治会単位の避難訓練を行っている</p> <p>自転車乗り方講習会は継続してほしい。</p>	<p>地域で見守っている。</p> <p>防犯カメラを設置した。</p> <p>小学校で開催している自転車乗り方講習会は非常に良いので継続してほしい。</p>	<p>避難訓練や防犯カメラ設置など地域としてできるところから始めている。</p> <p>自転車講習会など安全講習は継続したい。</p>
マイナス	<p>避難所開設について新潟市からの説明がなく対策を考えることもできず不安である。</p> <p>避難関係が縦割りで情報が混乱し対応できない。</p> <p>集団登校は本当に安全なのか。今一度考えることも必要ではないか。</p> <p>子どもが犯罪に巻き込まれないよう自分自身を守る教育が必要だ。</p> <p>地域パトロールにPTA世代が関わっていない。</p> <p>防犯カメラを設置しなければならないほどに治安が悪化していることが気になる。</p>	<p>避難所は市がやるのか？役割分担を明確にしたい。</p> <p>避難所運営を市がどこまでやるのか明確でない。自治会としては実情に合った避難所運営方法について丁寧な指導を頂きたい。避難者は拒まないとしてもキャパシティから考えて大丈夫なのだろうかと不安に思うところもある。</p> <p>自治会に避難所運営の何を求めているのかわからない。</p> <p>市の縦割りの各所から避難関係で手紙が来ると混乱する。</p> <p>集団登下校は本当に安全か。登校時に車が突っ込み多数の死傷者を出している現実があるので不安になる。</p> <p>自分自身を守る教育が必要。</p> <p>地域パトロールにPTA世代が関わっていない。</p> <p>カメラを付けるほど治安が悪化している。</p>	<p>避難所について新潟市と確認や相談し速やかに対応できる区にしたい。</p> <p>子どもたちには犯罪に巻き込まれない、身を守る方法を学ぶ機会や危険個所を知るなど地域を知る教育が必要だ。</p>

II. 安心してすこやかに暮らせるまち【C班】

コメントのまとめ	教育格差を解消し、子どもたちが地域に関わる機会をより充実させていく。
	高齢化や人材不足はすべてのコミュニティに関わる課題となっているので早急に対策が必要である。
	車社会を徐々に解消して、さらに子育て世代にやさしいまちづくりを目指す。

これまでの取り組みの評価		評価の集約または今後の方向性	
		個別意見	まとめ
①教育連携・社会教育			
プラス	しもまち地区の小中学校では総合学習の場として新潟市が整備を進めた早川掘通が大いに役立った。 地域教育コーディネーターの配置が進んだ。 地域教育コーディネーターやコミュニティスクールなど子どもたちを支える体制が整ってきた。 生活困窮者の家庭向けに子どもへの学習支援がある。	地域教育コーディネーターの配置が進んだことで、子どもたちが総合学習で地域活動に取り組む土台ができてきた。	子どもたちが授業で地域活動に関わるようになってきた。
マイナス	生活の苦しい世帯への細かい支援が足りていない。 新潟小学校区と旧礎小学校区で協力体制がなく交流が少ない。 子ども向けにもっと多様な人との交流をする場を提供してほしい。 ヤングケアラーの問題を把握しているのか？	特に義務教育後にあたる高校以降の教育格差が広がっている。 地域性の違いが如実に表れている。 子どもの教育環境を整備していかなければならない。	若手を育てる仕組み作りにもっと力を入れてほしい。現状把握を進めて生活困窮家庭に向けた教育機会の提供を推進して欲しい。
②協働			
プラス	地域ネットワークが強化されている。 下町コミ協は区や消防・警察・学校などの連携がうまくいっている。 コミュニティ協議活動の活性化に向けた研修会が実施されている。 コミュニティ協議会、自治会、町内会活動の活性化を目的とした研修会が開催されている。 コミュニティ協議会への運営費助成がある。	地域内で団体同士や行政などとの連携がスムーズになっている。 コロナ禍で中止されたものもあるが、研修会のおかげで防災や空き家問題への認識が深まったり、横のつながりができたりしている。	組織同士の交流はうまくいっている。
マイナス	高齢化が進み、コミ協の継続が難しくなっている地区がある。 自治会長の自覚の差が大きい。 自治活動に対する熱量に差がある。 ネットを活用したシステムの整備で交流を活性化しなければならない。 若手の人材をもっと取り入れていく必要がある。	コミ協の役割、あり方が問われている。 コミ協の役割を明確化していく必要がある。 人材確保と交流の場づくりをしていく。	人材不足や高齢化など、組織内での運営には課題がある。人材確保のために、こういう会議を若手をもっと参加しやすい時間帯にするなどの配慮も必要である。
③健康・福祉			
プラス	20歳から子宮頸がん検診を受けられる取り組みはとても良い。 妊娠から子育て期にわたって切れ目のない支援がある。 ファミリーサポート制度が充実していて、必要な時に必要な支援を頼める。 地域の茶の間が増えている。	子育て世代にやさしいまちづくりが進んでいる。人口減対策にもなる。 お年寄りが中心ではあるが、参加者が生き生きしている。	子育て世代にやさしい制度が充実している。地域の茶の間が増えてきていることでお年寄りの交流の場が生まれている。
マイナス	マイカー偏重構造の社会となっている。 地域の茶の間はもっと開かれた場であってほしい。 生活の苦しい家庭への支援をもっとしてほしい。 独り身の見取りの問題がある。	結果として生活習慣病の罹患率が高い。 内々では盛り上がっているものの、お年寄りばかりで若い人がいない。中に入りづらい。 弱者に対するサポート制度を充実させてほしい。	車に頼らざるを得ない都市計画をどうにかしなければならぬ。社会的弱者への相談窓口を設置してほしい！
④防災・防犯			
プラス	防水版の設置補助がある。 防犯カメラの設置補助がある。 防犯カメラの整備費用の補助がある。 防犯等の整備費用の助成がある。 防犯カメラの補助金制度は助かった。	助成のおかげで整備がどんどん進んでいるが、補助が今年で終わるものもあるので、規模が縮小してもぜひ継続してほしい。	防犯機器の設置に関する助成は継続してほしい！
マイナス	特殊詐欺、テレビCMを用いてもっと周知してほしい。 危険な通学路を市は把握しているのか？ 防災や防犯のせつかくの取り組みが生かされていない。 防犯カメラの補助金制度が今年で終了してしまうこと。 防犯カメラの設置は警察に費用負担してほしい。 地域住民と防災士とのかわりがよく見えない。 児童の登下校時における交通安全スタッフが不足している。	行政としても通学路整備に投資してほしい。 防犯対策の費用負担は地域だけでなく行政にもお願いしたい。 人材不足が懸念材料である。	子どもたちは地域住民・行政・学校・みんなで守るという意識をもっていきたい。
⑤生活環境			
マイナス	違反ごみや不法投棄ごみが多い。		

Ⅲ 水と緑が調和したやすらぎのあるまち【2班】

コメントの方向性のまとめ	市民一人一人がまちの緑を維持・管理する意識を持ち、行政や事業者と協働していく。
	ミズベリング(やすらぎ堤)はとても良いので、さらに活用を進めたい。
	水辺にはさまざまな制限があるが、考えながらもっと活用したい。
	市民が水に親しむ場所や機会、環境づくりをもっと進めたい(鳥屋野潟はこれからの整備に合わせて)。

これまでの取り組みの評価		評価の集約または今後の方向性	
		個別意見	まとめ
①水辺			
クラス	(予算が限られている中)水辺や緑地の維持管理を進めていること。 なんでもいっぺんにはできない。ないものねだりはダメ。	もっと予算を増やしたい。 もっと理解しよう。	市民・事業者・行政それぞれがまちをきれいにする意識を持つよう、啓発をもっと進める。 水辺の活用や管理に関わる人をもっと増やす。
	水辺の保全と啓発や利用が進んでいる。	水辺に関わる取り組みは全体的に成果が出ている。 水辺と四季折々の空間を楽しむイベントの開催。	
	住民は海拔0m地帯が多いことを忘れがちなので、海拔表示は良い。		
	日和山浜・関屋浜等の環境が整備され、人が集まるようになった。		
	日和山浜の突堤は良い。釣りもできる。		
	鳥屋野潟の水質が向上し、生き物が増えたと思う。		
	鳥屋野潟の清掃を通して、現状の課題がわかる。	・空芯菜の活用を図る(水環境が良くなる)。 ・鳥屋野潟をもっと活用しよう。	
	「鳥屋野物語」は自然環境の大切さを啓発することができて良い。	・鳥屋野潟周辺の整備については、報告とPRを兼ねて、進み具合を時折「市報」に載せる。	
	鳥屋野潟の出前講座で、次世代の子どもたちにどンドン良さを伝えていきたい。近隣の小学校以外にも広げていきたい。		
	鳥屋野潟の整備の中で用地取得を行ったことは良かった。 やすらぎ堤の創出で水辺のにぎわいできた。 ミズベリングの取り組みは、都心のにぎわいと水辺に親しめるので良かった。 ミズベリングは市民の憩いの場になった。		
マイナース	通船川にはゴミがたくさんある(タイヤ、電化製品など)。 大規模でなく身近なところで安心して水に親しめる場所がない。	信濃川の水質を良くするため、長野県と話し合う。 子どもが街中で安心して水辺に親しめる環境づくりをしたい。	「水の都」にふさわしい計画づくりを行うとともに、アピールする。 子どもをはじめ市民が安心して水辺に親しめる身近な環境づくりを進める。
	「鳥屋野物語」は具体的な取り組みが見えてこない。	評価する指標をもっと少し検討すべき。 目標の数値化	
	ミズベリングは飲食中心のため、成果が限定的だ。	ミズベリングは飲食以外を取り込むことを考慮してはどうか。 ウォーターシャトルを活用し、花見時期には大いに広告して良さを広める。	
	ラムサール都市認証を取るが議論がされていない。	ラムサール都市認証を取るの、そのことについて議論を深めたい。ふさわしい計画づくりが必要だ。	
	豊かな水環境や「水の都」であることが知られていない。	写真コンテストなどで情報発信を行い、「水の都」をもっとアピールする。 「湊町新潟」をアピールするのなら、新潟駅からの来訪者に対する宣伝(案内表示)を。 ※歩道橋(鳥屋野)にも水質改善が必要で、水質改善	
	新潟市内にある16の潟は人が訪れにくい。	人々が潟にもっと来られるよう、管理や行きやすい環境づくりの整備が必要だ。	
②緑化			
クラス	海沿いのマツクイムシ対策はできている。 クロマツの植樹による防風・防砂効果に期待する。 中央区全体に植樹されているツツジはきれいにされている。 海岸林や公園の緑化に対し、支援が進んでいる。 地域住民のクリーン作戦などの管理はすばらしい。	もっと回数や面積を増やしたほうがいい。	
	花壇を作り花もきれいになっているが、その後の手入れが疎かになっているところもある(特に駅前)。 街路樹や花壇など手入れができないならば取り壊す必要があるのでは。 松林の土が踏み固められて水はけが悪くなっているようで、浸水が心配だ。 維持管理を行政ですべて行うことには限界がある。 花壇小径(鳥屋野)は「古川」にはアーチがあるため、緑化がされていない。 常緑広葉樹の植樹も選択肢に入れるべきだ。 やすらぎ堤には樹木が少ない。 公園は大規模か小規模しかなく使いづらい。	・日頃から目が行き届くようにすべき。 ・市民一人一人が身の回りより少し広めにきれいにすると、全体がきれいになっていく。 ・管理ができていないところは地域との連携が必要。 ・アダプトロードなどの考え方で地域と行政が協力して管理する。 交差点くらいには木を植えてはどうか。 植樹の種類をもっと考慮してほしい。 やすらぎ堤はもっと緑化したい。 住民が日常の中で楽しめる中規模の公園があるといい。公園整備のコンセプトを考え直したほうがいいのでは。	
マイナース		緑の管理は、市民と行政が連携して行う。 まち中でさらに緑化を進めるとともに、日常的に市民が集まり楽しめる使いやすい公園づくりを行う。	

IV. 未来につなぐ歴史・文化のまち【3班】

コメントのまとめ	市民一人一人が地域の良さをPRする意識を持つ。
	地区内に点在している資源をつなげて大きな面としての魅力をつくっていく。
	これからの起業家を含め、若者たちが活躍できる場をつくる。

これまでの取り組みの評価		評価の集約または今後の方向性			
		個別意見	まとめ		
①歴史・文化					
プラス	小澤家で新潟漆器体験や料亭料理を食べる体験はよかった。	<ul style="list-style-type: none"> ・この地区を文教地区として発展させる(各資源を集約していく)。 ・古いものと新しいトレンドを上手にマッチングする。 			
	新潟漆器のことで私も知らないことがわかった。				
	古町芸妓のPR、料亭と連携しての芸妓の舞披露への支援はよかった。				
	古町芸妓に関する情報発信が多くなった。				
	古町芸妓はかけがえのないコンテンツ。				
	地域固有の歴史、文化遺産を構成に継承しようとする努力が感じられた。				
	発酵食のPR				
	えんでこによる中央区の魅力スポットの再発見。				
	えんでこの実施				
	えんでこでまちを知ってもらうことは大切。				
えんでこ、すばらしい活動！	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の視点でまちの良さを発信する姿勢をつくる。 ・市民一人一人が、自分の立場でまちづくりに取り組む姿勢をつくる。 				
シティガイドの皆さん。					
個々の歴史・文化に光を当てている。					
学芸員の久保有朋さん、新潟の歴史や文化の保存・伝承に尽力している。					
フォトコンテストで若い人も参加しやすくなった。					
個々の点が線や面となって広がらない。					
若者(専門学校生)の参画が弱い。					
芸術文化は一般市民に馴染みが少ない。					
古町芸妓は市民の生活と離れている。					
区民が新潟の歴史を知らないのでは？もっとどのように学んで実際に足を運んでもらうか？					
発酵食品工場が鉄道工事やバイパス工事に掛かり、東港へ移転している。	<ul style="list-style-type: none"> ・空店舗を各地区の拠点にしていく。 ・全ての世代の人が集える場をつくる。 ・それぞれの世代で集える場をつくる。 	<p>中央区を明確なテーマで色づけし、それぞれの魅力を活かすまちづくりを行う。 そして、それを中心的に動かすのは若者でなくてはいけない。</p>			
伝統的産品「新潟漆器」「発酵食」は区民にも知名度が低い。					
新潟漆器の現在の活動が見えない。商品をしらない。					
新潟漆器はどんな特色があって、使い勝手の知らせ方がどうか？					
開港150周年の記念行事は行われたが、後世に伝えるものが見えてこない。					
開港150周年はぜんこくできなわたいにならなかった。横浜や神戸に大きく遅れている。					
大人視点で考えたことを子どもに取り組ませているのは自分事になっていない。愛着心が育まれていない。→地域に暮らしてくれるか？					
②産業					
プラス			空店舗活用の出展支援	<ul style="list-style-type: none"> ・空店舗を新しい起業家とマッチングする仕組みをつくる。 ・みんなで一緒に空店舗や空きスペースを活用してソウルフード通りをつくる。 ・新潟市の資源やシステムを誘客・交流につなげる。 	
			新潟2kmの発案により、都心軸の活性化が見られる。		
	NGT48が古町芸妓と結べたらスゴイ！				
	文化施設のPRも効果的。				
	地産地消推進の店の認定。				
	発酵食などへのPRは効果的。				
	マンガ大賞からガタフェス、そしてNSGの関連学校や開催地域との連携によって広く市民が参加した。				
	新潟漆器・発酵食を内外に向けてPRに努めた。				
	過去の掘り起こしができている。				
	水辺のまちフォトコンテストがよかった。				
発酵食は新潟市の特徴がない。	<ul style="list-style-type: none"> ・空店舗を新しい起業家とマッチングする仕組みをつくる。 ・みんなで一緒に空店舗や空きスペースを活用してソウルフード通りをつくる。 ・新潟市の資源やシステムを誘客・交流につなげる。 				
消費者の購買形態がネットに変わってきている。購買拡大のやり方を検討する必要がある。					
ピア万代(観光的施設)などの商業施設の充実が必要。					
古町と万代の人の流れが変化している。新潟駅→万代までバス代が100円。					
各地域の商店街の連携が不足している(一体化の取り組み)。					

<p>マイ ナ ス</p>	<p>地産地消の店は実態がよくわからない。 空店舗活用が増えていない。 店舗を貸し出すための所有者への支援がほしい。 創業助成のシステムがまちづくりにつながっていない。 万代町から沼垂にかけて商店街が寂れた。しもまちも同様。 西堀ローサに飲食業などを誘致する。新規事業者を増やす。 DeNA・鈴木コーヒー・スノーピークなど、成功している新潟出身の社長の話を聞いたりするような取り組みが少ない。 雇用と賃金アップに繋がっていない。</p>	<p>・学生向けのイベントをもっと開催する(若者によるまちづくりをもっと推進する)。</p>
<p>③まちなみ</p>		
<p>ブ ラ ス</p>	<p>やすらぎ堤の整備 柳都大橋前のヨット置き場がとても良い。 花街はなくてはならない町並み 西大畑・花街の町並みをより活かす石畳舗装は◎。 花街の素敵な店舗にカフェなど入りやすくなった。</p>	<p>・駅をスタート地点として、各地区を線で結び、大きな面としての魅力をつくる。</p>
<p>マイ ナ ス</p>	<p>過去と現在の融合が弱い(NEXT21・メディアシップ・H日航)。 重点地区において小路や通りなどが面になっていない。 交通機関がカタカタで使いづらい。 若者による銭や面への工夫がほしい(イラストマップやPR動画などを活用)。</p>	<p>・個別にある魅力をまとめて発信していきたい。</p>

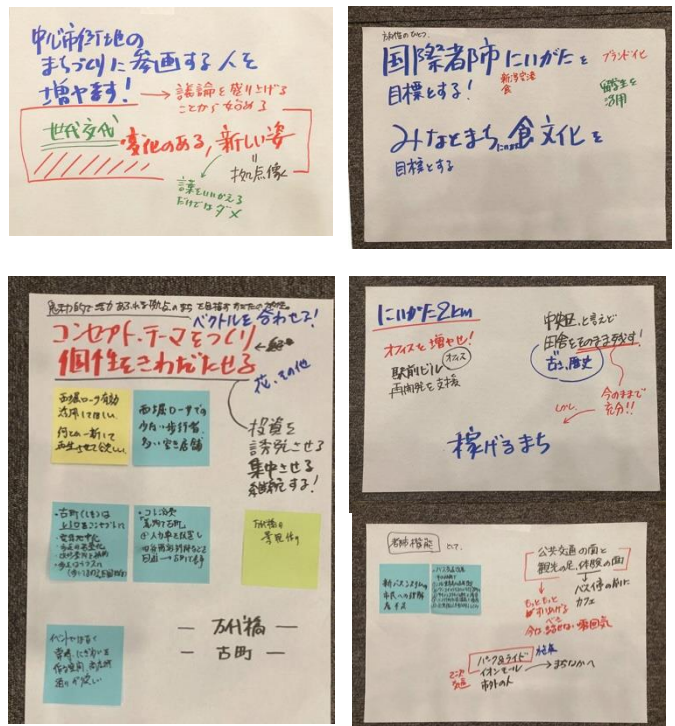
■各グループの意見交換の記録（ワークシート）

2021.11.26 / 中央区
区ビジョンまちづくり計画WS

I. 魅力的で活力あふれる拠点のまち【1班】

これまでの取り組み		これまでの取り組み	
① 商店街		② まちなか回遊	
プラスの評価	マイナスの評価	プラスの評価	マイナスの評価
<ul style="list-style-type: none"> 商店街の活性化 歩行者天国 観光客の誘致 地域活性化 伝統文化の継承 子育て支援 高齢者支援 防災対策 環境美化 交通安全 防災対策 環境美化 交通安全 	<ul style="list-style-type: none"> 歩行者天国の制限 観光客の誘致の難しさ 地域活性化の持続性 伝統文化の継承の難しさ 子育て支援の充実 高齢者支援の充実 防災対策の充実 環境美化の充実 交通安全の充実 防災対策の充実 環境美化の充実 交通安全の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 歩行者天国の制限 観光客の誘致の難しさ 地域活性化の持続性 伝統文化の継承の難しさ 子育て支援の充実 高齢者支援の充実 防災対策の充実 環境美化の充実 交通安全の充実 防災対策の充実 環境美化の充実 交通安全の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 歩行者天国の制限 観光客の誘致の難しさ 地域活性化の持続性 伝統文化の継承の難しさ 子育て支援の充実 高齢者支援の充実 防災対策の充実 環境美化の充実 交通安全の充実 防災対策の充実 環境美化の充実 交通安全の充実
評価の集約または今後の方向性		評価の集約または今後の方向性	

これまでの取り組み		これまでの取り組み	
③ 都市機能		④ 交流人口	
プラスの評価	マイナスの評価	プラスの評価	マイナスの評価
<ul style="list-style-type: none"> 都市機能の充実 交流人口の増加 子育て支援 高齢者支援 防災対策 環境美化 交通安全 防災対策 環境美化 交通安全 	<ul style="list-style-type: none"> 都市機能の充実 交流人口の増加 子育て支援の充実 高齢者支援の充実 防災対策の充実 環境美化の充実 交通安全の充実 防災対策の充実 環境美化の充実 交通安全の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 都市機能の充実 交流人口の増加 子育て支援の充実 高齢者支援の充実 防災対策の充実 環境美化の充実 交通安全の充実 防災対策の充実 環境美化の充実 交通安全の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 都市機能の充実 交流人口の増加 子育て支援の充実 高齢者支援の充実 防災対策の充実 環境美化の充実 交通安全の充実 防災対策の充実 環境美化の充実 交通安全の充実
評価の集約または今後の方向性		評価の集約または今後の方向性	



1 班

2021.11.26 / 中央区
区ビジョンまちづくり計画WS

II. 安心してすこやかに暮らせるまち【A班】

これまでの取り組み		これまでの取り組み	
① 教育連携・社会教育		② 協働	
プラスの評価	マイナスの評価	プラスの評価	マイナスの評価
<ul style="list-style-type: none"> 教育連携の推進 社会教育の充実 協働の推進 防災対策 環境美化 交通安全 防災対策 環境美化 交通安全 	<ul style="list-style-type: none"> 教育連携の推進 社会教育の充実 協働の推進 防災対策の充実 環境美化の充実 交通安全の充実 防災対策の充実 環境美化の充実 交通安全の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 教育連携の推進 社会教育の充実 協働の推進 防災対策の充実 環境美化の充実 交通安全の充実 防災対策の充実 環境美化の充実 交通安全の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 教育連携の推進 社会教育の充実 協働の推進 防災対策の充実 環境美化の充実 交通安全の充実 防災対策の充実 環境美化の充実 交通安全の充実
評価の集約または今後の方向性		評価の集約または今後の方向性	

これまでの取り組み		これまでの取り組み	
③ 健康・福祉		④ 防災・防犯 ⑤ 生活環境	
プラスの評価	マイナスの評価	プラスの評価	マイナスの評価
<ul style="list-style-type: none"> 健康・福祉の充実 防災・防犯の充実 生活環境の充実 防災対策 環境美化 交通安全 防災対策 環境美化 交通安全 	<ul style="list-style-type: none"> 健康・福祉の充実 防災・防犯の充実 生活環境の充実 防災対策の充実 環境美化の充実 交通安全の充実 防災対策の充実 環境美化の充実 交通安全の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 健康・福祉の充実 防災・防犯の充実 生活環境の充実 防災対策の充実 環境美化の充実 交通安全の充実 防災対策の充実 環境美化の充実 交通安全の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 健康・福祉の充実 防災・防犯の充実 生活環境の充実 防災対策の充実 環境美化の充実 交通安全の充実 防災対策の充実 環境美化の充実 交通安全の充実
評価の集約または今後の方向性		評価の集約または今後の方向性	

A 班

2021.11.26 / 中央区
区ビジョンまちづくり計画WS

II. 安心してすこやかに暮らせるまち【C班】

これまでの取り組み		これまでの取り組み	
① 教育連携・社会教育		② 協働	
プラスの評価	マイナスの評価	プラスの評価	マイナスの評価
<ul style="list-style-type: none"> 教育連携の推進 社会教育の充実 協働の推進 防災対策 環境美化 交通安全 防災対策 環境美化 交通安全 	<ul style="list-style-type: none"> 教育連携の推進 社会教育の充実 協働の推進 防災対策の充実 環境美化の充実 交通安全の充実 防災対策の充実 環境美化の充実 交通安全の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 教育連携の推進 社会教育の充実 協働の推進 防災対策の充実 環境美化の充実 交通安全の充実 防災対策の充実 環境美化の充実 交通安全の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 教育連携の推進 社会教育の充実 協働の推進 防災対策の充実 環境美化の充実 交通安全の充実 防災対策の充実 環境美化の充実 交通安全の充実
評価の集約または今後の方向性		評価の集約または今後の方向性	

これまでの取り組み		これまでの取り組み	
③ 健康・福祉		④ 防災・防犯 ⑤ 生活環境	
プラスの評価	マイナスの評価	プラスの評価	マイナスの評価
<ul style="list-style-type: none"> 健康・福祉の充実 防災・防犯の充実 生活環境の充実 防災対策 環境美化 交通安全 防災対策 環境美化 交通安全 	<ul style="list-style-type: none"> 健康・福祉の充実 防災・防犯の充実 生活環境の充実 防災対策の充実 環境美化の充実 交通安全の充実 防災対策の充実 環境美化の充実 交通安全の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 健康・福祉の充実 防災・防犯の充実 生活環境の充実 防災対策の充実 環境美化の充実 交通安全の充実 防災対策の充実 環境美化の充実 交通安全の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 健康・福祉の充実 防災・防犯の充実 生活環境の充実 防災対策の充実 環境美化の充実 交通安全の充実 防災対策の充実 環境美化の充実 交通安全の充実
評価の集約または今後の方向性		評価の集約または今後の方向性	

C 班

2021.11.26 / 中央区
区ビジョンワークショップの成果

II. 安心してすこやかに暮らせましょ【B班】

これまでの取り組み

① 教育・生涯・社会教育		② 協働	
プラスの評価	マイナスの評価	プラスの評価	マイナスの評価
<ul style="list-style-type: none"> 自習室の充実 地域の学習支援 生涯学習の推進 社会教育の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 学習環境の整備 学習支援の充実 社会教育の推進 生涯学習の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 協働の推進 地域の連携 市民参加の促進 社会教育の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 協働の推進 地域の連携 市民参加の促進 社会教育の充実
<p>評価の集約または今後の方向性</p> <p>教育・生涯・社会教育の充実を推進し、学習環境を整備し、市民参加を促進する。</p>		<p>評価の集約または今後の方向性</p> <p>協働の推進を推進し、地域の連携を促進し、市民参加を促進する。</p>	

③ 健康・福祉

プラスの評価	マイナスの評価
<ul style="list-style-type: none"> 健康増進の推進 福祉サービスの充実 高齢者の支援 子育て支援の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 健康増進の推進 福祉サービスの充実 高齢者の支援 子育て支援の推進
<p>評価の集約または今後の方向性</p> <p>健康増進の推進を推進し、福祉サービスの充実を促進し、高齢者の支援を促進する。</p>	

④ 防災・防犯 ⑤ 生活環境

プラスの評価	マイナスの評価
<ul style="list-style-type: none"> 防災・防犯の推進 生活環境の整備 防災意識の醸成 生活環境の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 防災・防犯の推進 生活環境の整備 防災意識の醸成 生活環境の整備
<p>評価の集約または今後の方向性</p> <p>防災・防犯の推進を推進し、生活環境の整備を促進し、防災意識の醸成を促進する。</p>	

B 班

● 教育に数値評価はとどかないのでは？
⇒ 数値化は出来たとしてもいいのでは？
↓
数値化の必要性 B班

● 各組織の機能を一度見直時期は？
● 市の役割を明確に。
→ 担い手分担の「行方」と「役割」の明確化 B班

● 「もうひとし」おと...
● 「どこにも無い」
→ 説明 B班

● 「マックス」は「プラス面と表裏一体」の様々な要素とかがり合せて解決できる環境なのか！
～ もうひとしをうまく活用して、まちを良くする B班

2021.11.26 / 中央区
区ビジョンワークショップの成果

III. 水と緑が調和したやすらぎのあるまち【2班】

これまでの取り組み

水辺	
プラスの評価	マイナスの評価
<ul style="list-style-type: none"> 水辺の整備 水辺の活用 水辺の保全 水辺の活用 	<ul style="list-style-type: none"> 水辺の整備 水辺の活用 水辺の保全 水辺の活用
<p>評価の集約または今後の方向性</p> <p>水辺の整備を推進し、水辺の活用を促進し、水辺の保全を促進する。</p>	

② 緑化

プラスの評価	マイナスの評価
<ul style="list-style-type: none"> 緑化の推進 緑地の整備 緑地の活用 緑地の活用 	<ul style="list-style-type: none"> 緑化の推進 緑地の整備 緑地の活用 緑地の活用
<p>評価の集約または今後の方向性</p> <p>緑化の推進を推進し、緑地の整備を促進し、緑地の活用を促進する。</p>	

市民一人一人が木の緑を維持・管理する意識を行政事業者と協働していく (緑化)

ミズバギングはとて良いので (防災提) さらに活用を進めたい (水) (緑化)

「いろんな利限ある...」と考ながら、木を活用したい 3歳の道端 (鳥居) (水)

水に親しい場所・機会 環境元りとも進めたい 例: 人が近づける水辺整備の機会 (鳥居) (水)

2 班

IV. 未来につなぐ歴史・文化のまち【3班】

2021.11.20/中央区
区ビジョンづくり計画WS

プラス マイナス

これまでの取り組み

① 歴史・文化

プラスの評価	マイナスの評価
<ul style="list-style-type: none"> 小塚公園 市民会館 区立美術館 区立図書館 区立体育館 区立市民センター 区立美術館 PR 区立図書館 PR 区立市民センター PR 区立体育館 PR 区立市民センター PR 	<ul style="list-style-type: none"> 歴史・文化のまちとしての認知度が低い 歴史・文化のまちとしての魅力を十分に生かしていない 歴史・文化のまちとしての魅力を十分に生かしていない 歴史・文化のまちとしての魅力を十分に生かしていない 歴史・文化のまちとしての魅力を十分に生かしていない

評価の集約または今後の方向性

文化のまちの魅力を十分に生かすこと、歴史・文化のまちとしての魅力を十分に生かすこと、歴史・文化のまちとしての魅力を十分に生かすこと、歴史・文化のまちとしての魅力を十分に生かすこと

これまでの取り組み

② 産業

プラスの評価	マイナスの評価
<ul style="list-style-type: none"> 区立美術館 PR 区立図書館 PR 区立市民センター PR 区立体育館 PR 区立市民センター PR 	<ul style="list-style-type: none"> 歴史・文化のまちとしての認知度が低い 歴史・文化のまちとしての魅力を十分に生かしていない 歴史・文化のまちとしての魅力を十分に生かしていない 歴史・文化のまちとしての魅力を十分に生かしていない 歴史・文化のまちとしての魅力を十分に生かしていない

評価の集約または今後の方向性

歴史・文化のまちとしての魅力を十分に生かすこと、歴史・文化のまちとしての魅力を十分に生かすこと、歴史・文化のまちとしての魅力を十分に生かすこと、歴史・文化のまちとしての魅力を十分に生かすこと

これまでの取り組み

③ まちなみ

プラスの評価	マイナスの評価
<ul style="list-style-type: none"> 区立美術館 PR 区立図書館 PR 区立市民センター PR 区立体育館 PR 区立市民センター PR 	<ul style="list-style-type: none"> 歴史・文化のまちとしての認知度が低い 歴史・文化のまちとしての魅力を十分に生かしていない 歴史・文化のまちとしての魅力を十分に生かしていない 歴史・文化のまちとしての魅力を十分に生かしていない 歴史・文化のまちとしての魅力を十分に生かしていない

評価の集約または今後の方向性

歴史・文化のまちとしての魅力を十分に生かすこと、歴史・文化のまちとしての魅力を十分に生かすこと、歴史・文化のまちとしての魅力を十分に生かすこと、歴史・文化のまちとしての魅力を十分に生かすこと

① 全世代の人が集える場をつくる

② この地区を文楽地区として発信する

③ 空店舗を各団体の拠点にする

④ 市民の意見を取り入れる

⑤ 商店街の活性化を図る

⑥ 空店舗を新しい商業家に活用する仕組みをつくる

⑦ 個別にある魅力をまとめて発信していく

⑧ 学生向けのイベントを開催する

⑨ 全世代の人が集える場をつくる

⑩ 新市場の資源と誘客・交流に力を入れる

⑪ 商店街の中心は自分たちの手で取り戻す

⑫ 自分の視点で発信する姿勢をつくる

⑬ 古くは新しいおもてなしを工夫する

⑭ 空店舗活用がカギ

⑮ 若者の投入に力を入れる

⑯ 古田に大型の店舗が入ると、交通の充実、新しい街の発展、行く車が増える、失った街を元に戻す

5 班

3. 参加者のふりかえり

シート回収数 25 枚

〈Q1〉全体の満足度

平均値 3.96

(とても満足した：5 満足した：4 普通：3 不満だった：2 とても不満だった：1として算出)

〈Q2〉Q1でそう思った理由は？

■とても満足した (3名)

- ・率直な意見を数多く聞くことができました。
- ・分野毎に詳しい方が多く、今まで気づかなかった問題が存在することもわかりました。
- ・皆様、中央区の現状を理解しさらなる高みをめざしている様子が分かった。
- ・まとめもうまく良い発表ができた。
- ・意見を話し易いように導いていただいた。

■満足した (18名)

- ・短時間に意見交換ができたと思う。
- ・意見を出し合う事ができた。
- ・同じテーマで話せる事が出来た。
- ・想いがあふれる多様な意見、考えを交流できた。
- ・テーマ毎にさまざまな意見が多く聞けてよかった。十人十色といいますが本当に皆さんは真剣

に取り組んでいると思えました。楽しかったです。

- ・沢山の意見が出てきたことは、有意義であった。
- ・街づくりに対するいろいろな意見を聞く事ができた。
- ・スタイルを変える事で色々な意見を聞く事ができた。
- ・自分の意見や他人の意見が聞けて、たいへん参考になった。
- ・メンバーに専門家もいるので、貴重な意見を聞くことができた。
- ・各問題で、同じように考え感じている方がいることに感動。
- ・普段話さない人と普段あまり気に掛けていないテーマにも資料確認をすることで、再確認や再認識ができた。
- ・全体のまとめは皆さんうまくまとめていた。
- ・ファシリテーターが上手でした。
- ・進行がしっかり核心を捉えてくれた。グループ発表がしやすかった。
- ・時間がもっとほしいくらい。
- ・もう少し時間がほしかった。

■普通（4名）

- ・中央区と限定されている事！ビジョン期限が限られている事！
- ・みんな興味を持ってもらう、年代を超えて協力が必要。
- ・今回初めての参加で最初は良くつかめなかった。
- ・時間が短い割に多岐に渡っているので1件の深掘りができなかった。

〈Q3〉WSでの気づき

- ・色々な意見等発言があり勉強になった。
- ・色々な分野の方々の意見を、生で聞けて良かった。
- ・更に地域に目を向ける機会を得た。
- ・同じような考えを持っている人がいる事で心づよく思った。
- ・同じ事を考えている人が多かった。
- ・自分の同じ考えのある方が意外と多い。
- ・共有認識が把握できた。
- ・共通の認識、想いがあるということ（地域活性化への）。
- ・皆さんが中央区を住みやすくしたいという思いが通じた。
- ・高齢者と空き店舗の街にもやり方しだいで未来があると感じた。
- ・新潟市、そして中央区には様々な課題が存在することがわかりました。
- ・市、自治協、商店街などの主要関係者の世代交代は問題となっている事が、改めて良く分かった。
- ・行政のPRが不足していると感じた。
- ・行政のしぼりが多すぎる！セクト主義が横行！（プレートホーム化）
- ・勉強不足でもっと理解してから参加すべきだったと反省している。
- ・分野が多岐にわたって良く分からない所があった。
- ・専門的な分科を担当する人選を行えば良いのでは（希望する）。

- ・中央区に対する知識が少ないことを感じた。
- ・じっくりともう少し時間をとって他の人の意見が聞くことができたなら良かった。
- ・各人が活発な意見が出て良かったが、テーマにより盛り上がりが違う。
- ・全体的なテーマは何となくわかったが、もう少し、ひとつのテーマではっきりしたものが出てくればよりわかりやすかったのではないか！（テーマが広すぎて、しばっての議論がほしかった）
- ・今後の方針をもっと掘り下げたい。長期の視点でシステムや助成のきまりを作らないとつみあげても0にもどって進まない→SDG's からめて持続可能になるための事を考える必要があると思う。
- ・自治協の人達の発言力。
- ・いろんな人がいるもんだ。
- ・コミュニケーションに深く理解がないと色々な事が上手に流れない。ファシリテーターの導きがとてもよかった。
- ・意見の集約は大変だなあーと思いました。

〈Q4〉WSで嬉しかったこと・残念だったこと

■嬉しかったこと

- ・テーマに基づき、他様な意見交換が出来たと思う。
- ・他の人達と意見交換が出来良かった。
- ・共通の課題で議論でき楽しかった。

- ・それぞれの意見を認め合い、共感できたこと。
- ・皆様との考え方ふれあいが良い。
- ・皆さんと交流できた。コミュニケーションができた。
- ・意見が出た。思いつきが多かった。
- ・自治協全体会で発言されなかった方でもワークショップでは積極的に発言されていた。
- ・自分で発言した事がとりあげられた。
- ・高齢者と空き店舗の街にもやり方しだいで未来があると感じた。
- ・意見を聞いてみて、ひとつのテーマを決める事がむずかしいのがわかった。これからの作業がきびしいと思う。テーマの決め方も議論の必要があると思う。
- ・まちづくり学校の皆さんがすばらしかった。
- ・久しぶりにファシリテーターさんに逢えたこと。進行役は良いですね(益々頑張ってください)。

■残念だったこと

- ・やってみると時間が短かった。
- ・時間が足りませんでした。
- ・時間が少なかったので、他班のワークシートをよくみたい。
- ・途中からの参加だった失敗。
- ・前半・後半と意見が全く違い、まとまりにくい感じがした。全体の流れが。
- ・途中でメンバー交代しましたが、交代前と3人が同じメンバーとなっていました。これはやむを得なかったことなのかな。色々な人との交流の機会にもなるのでもっと混ぜて欲しかった。

- ・このワーク前に、もう1段階自治協の中で評価を出し合いまとめる所まで行い、未来について専門家の誘導のもと、2030年のどんな未来にしたいのかという指針が議論できるともよかった。
- ・中央区で実施できる事の限界がある。

〈Q5〉 その他、気づいたことなど

- ・同様のワークショップをコミ協の役割についてやってもらいたい。
- ・「マイナス」「プラス」表裏一体なんだから様々な要素を掛け合わせて解決できるのではないか。
- ・公共交通への言及が少なかった。
- ・交通人口の少なさ、まちなかがさびれていることなども全て、公共交通がせい弱なことに起因しています。次の8年、更に10年後を目指すならライトレールの導入が必要です。
- ・災害時避難所開設となった場合、中高生の力を活用する為にも、中高生の防災教育を引続き重きを置いて続けて欲しい。
- ・人口減少を止めるべく、そしてにぎわいのある世代（若年層）を増やす施策をいくつかテーマにあげてほしい。
- ・観光資源としての西海岸公園の活用を整備
- ・市役所以西の文教地区構想（西大畑を含む）
- ・2023～2030で実施する事は限られている。中央区だけでの判断でOKなのか？※マイナンバー制度も速やかに！！
- ・Q3と同じ（今後の方針をもっと掘り下げたい～）

- ・色々な意見があるのはあたりまえ、それを集めるのは難しいと思った（意見交流も大切だし時間が必要）。
- ・事前にポストイットも資料と一緒に配布していただければ、議論する時間が増えたと思います。2度手間でした。
- ・不完全燃焼ぎみ…
- ・今日はすべてで満足でした。ありがとうございました。
- ・まちづくりコーディネーターの皆様、素晴らしいファシリテーターでした。ありがとうございました。
- ・特にありません（2件）